

エース

注目の8人

①3①

神奈川高校野球

夏 9日開幕

絶対的なエースとして自覚は十分だ。「ベンチで誰よりも声を出し、練習も自分から進んでやってくれ」と八木沢辰巳監督(50)の信頼も厚い。ターニングポイントは昨春の県大会3回戦だった。

12年ぶりの4強は目前。だが、新型コロナウイルスの部内感染で準々決勝を辞退することになり、「横浜スタジアムまであと一つだった。投げられない悔しさが残っている」と振り返る。

今春も藤嶺藤沢、湘南学院を1点差で下すなど順調に勝ち上がった。「練習試合ができてなくて秋よりコントロールが悪かった。でも調子が悪いなりに配球を考えて抑えられて自信になった」

気迫を前面に真つ向勝負。横浜商大の浜田大翔(3年)は、最速143km/hの直球を軸に多彩な変化球を織り交せて昨秋、チームをベスト4に導いた。

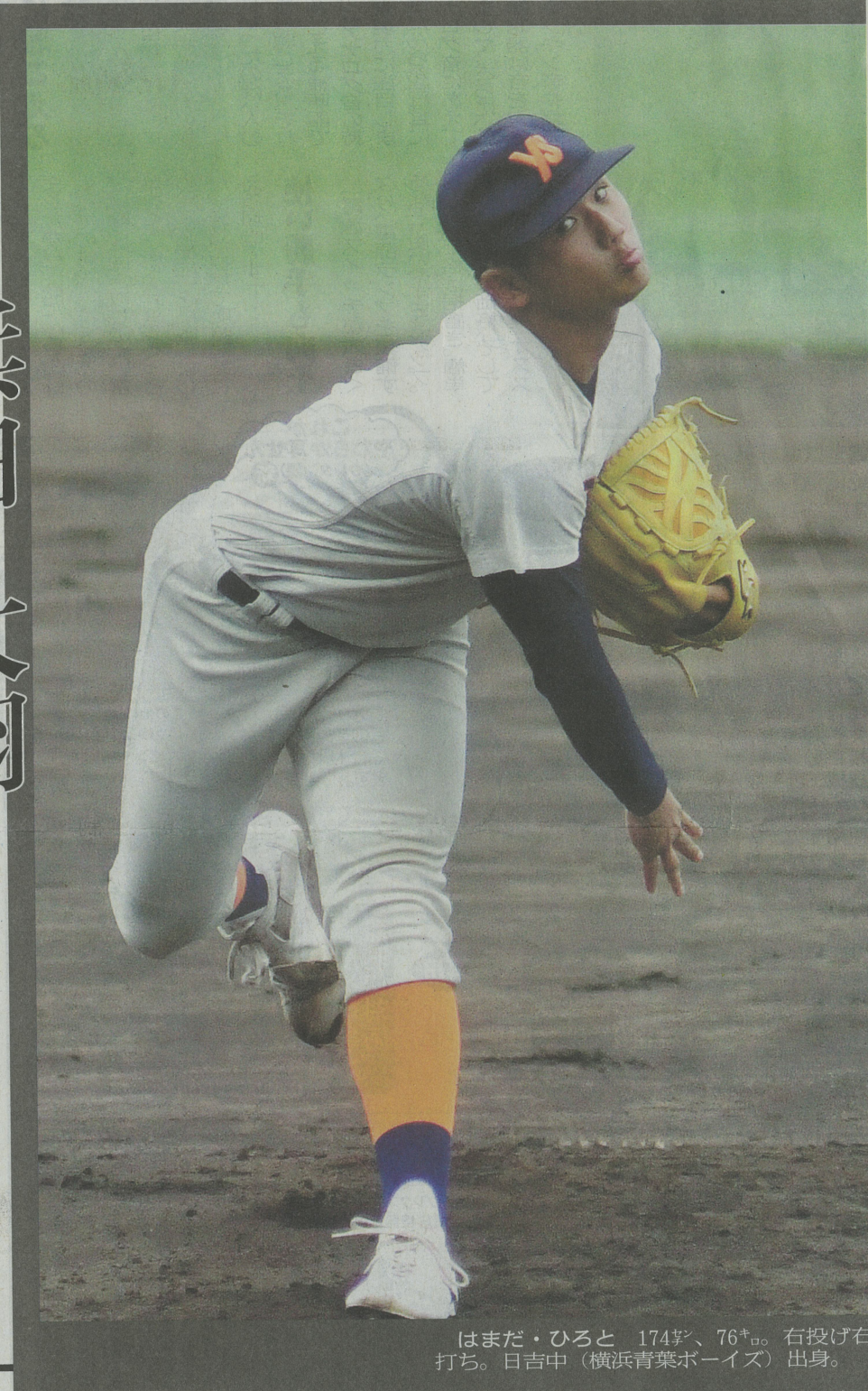
選抜大会出場校の投手の体つきを見て、トレーニングにも一層力を入れた。体重は秋から7kg増えて、球質は一段と重くなった。「どんな相手でも全力を出し尽くす」のがトレードマークの右腕は、最後の夏を前に、黄色いグラブを新調した。

その夜、あふれんばかりの感情をノートに書き殴った。以来、野球に対する意識が変わった。早朝からグラウンドでダッシュを繰り返す日々。「誰もできないくらい走ってきた。今もノートを見返したら、きつい練習でももうちょっとやろうって思えるんです」

「悔しい、悔しい、悔しい。情けない。本当にエースなのか？」

初めて背番号1を付けて迎えた公式戦初登板。相模原弥栄を相手に三回途中3失点で降板し「相手にのまれてしまった」と浜田。力を発揮できず、涙に暮れた。

時 刻 ば たく 羽 面 前 迫 気



横浜商大

浜田大翔

「甲子園に出たときの商大の投手が使っていた色。伝統を受け継ぐ。試合に勝って、見ている人を喜ばせたい」。グラブに刻んだ「やるしかない」のメッセージを胸に、19年ぶりの聖地を目指す。
(松村 祐介、写真も)

鍵は徹底する力

秋、春ともに接戦を制して上位に勝ち上がった横浜商大。甲子園出場4度の伝統校は、夏へ確かな手応えをつかんだ。

チームの要は昨夏からバッテリーを組むエース浜田と主将の間瀬。経験豊富な2人を二塁塩沼、中堅三浦らセンターラインが堅守で支える。

ナインは1月から月間目標を定め、結束を高めてきた。さらに上を目指す鍵は徹底する力が必要だと言った。間瀬は言う。「春は(辞退するまで)1点差で2試合を勝ち切れて自信になった。でも大事な場面でミスが出た。目標に掲げていた『こだわる』は貫けなかった」

八木沢辰巳監督(50)が「長打は少ないのでいかに機動力を絡められるか。チャンスで確実に仕留められるか」と話すように、課題は打力。春のチーム打率は4割前後とまずまず。本格派投手を攻略できれば、19年ぶりの甲子園が見えてくる。

はまだ・ひると 174cm、76kg。右投げ右打ち。日吉中(横浜青葉ボーイズ)出身。



納得のタイムで成し遂げた2連覇の味は格別だった。女子100m障害の加藤(横浜緑が丘)は大会記録を0秒21上回る13秒84でフィニッシュ。「ずっと13秒台を出したくて…。記録のこだわりはここから」

V2

感を得る。小学校時代は6年間、運動会のリレー選手に選ばれ、男子とも競い合った。「日本記録を出した時から知っている。卒業生が日本のトップを走っているのはすごい」と憧れるのはOB

- ▽以上大会新、谷崎(南郷)が4分6秒62、門間(秋葉台)が4分6秒89で全国標準記録突破
- ▽3000m ①林優太郎(茅ヶ崎) 9分11秒66 ②湯山(汲沢) 9分15秒52 ③伊藤(田奈) 9分15秒74 ④大井(春日台) 9分17秒67
- ⑤池谷(舞岡) 9分18秒90 ⑥鈴木(大津) 9分19秒51 ⑦富樫(平塚) 9分20秒12 ⑧柳沢(座間) 9分25秒95
- ▽110m障害 ①村上祥太郎(日吉中) 2分11秒00

- 葉台 6分47秒 ②来住南(川崎橋) 6分34秒 ③唐塚(横浜旭) 6分27秒 ④皆川(相原) 6分17秒 ⑤柳沢(保土ケ谷) 6分14秒 ⑥平沢(鶴間) 6分07秒 ⑦佐藤孝(茅ヶ崎) 5分58秒 ⑧柳江(湯) 5分51秒
- ▽砲丸投げ ①境春隆(富前平) 12分62秒 ②小島(いずみ野) 12分53秒 ③泉モリカタ(神田) 12分28秒 ④池(南生田) 12分16秒 ⑤村田(北相) 11分40秒 ⑥長沢(塚越) 11分34秒 ⑦田(御幸) 11分19秒 ⑧横手(横浜橋)

- 13秒03 ③堀川(西栗) 13秒07 ④松野(東海大相模) 13秒15 ⑤緑川(川崎橋) 13秒22 ⑥高山(箱根) 13秒46 ⑦小林生田 13秒56 ⑧和田(港南) 13秒60 以上追い風参考
- ※予選で吉永(御幸)が12秒22 ①一年生中 ②大会新で全国標準記録突破
- ▽2年100m ①江口美玲(大綱) 12秒45 ②折原(向丘) 12秒53 ③大竹(駒が原) 12秒54 ④望月孝(茅ヶ崎) 12秒59 ⑤堀(松林) 2秒8 ⑥青木(西栗) 2秒17 ⑦三

※予選で14秒03 ①馬場 ②伊東 ③伊東 ④伊東 ⑤伊東 ⑥伊東 ⑦伊東 ⑧伊東 ⑨伊東 ⑩伊東

【ヒューマン】米大リー、で行われ、大谷はヒアストロ、指名打者、戦略、相手バ、手、初球を引、口、席目は外、た。4度、ずれも左、外角を意、たよつた、スを外れ、エンシァ、れ、当て、八回はス